



アスンシオン通信

シーズン 2

日付: 2026 年 2 月 27 日 no.44

発行者: 田邊紘起

Hola a todos ! Como están?

ついこの前始まったと思っていた 3 学期もあっという間に残り一ヶ月になってしまいました。皆さん、寒さに負けずに頑張っていますか。パラグアイは今、毎日暑くて暑くて、私はちょっと夏

バテ気味です。夏バテになると食欲もなくなるので、こんな時はあっさりした「日本のうどん」が食べたくなります。アスンシオンでも「うどん」は「Udon」という名前で売られています。では反対に、皆さんが暮らしている日本にもスペイン語の名前がついたものがあるでしょうか。今回は日本の中で見ることができるスペイン語について紹介します。

日本の中にあるスペイン語

遊び編

〈ウノ〉

皆さんが遊んだことがあるカードゲームは何ですか。「トランプ」という人が多いかもしれませんが、「UNO（ウノ）」というカードゲームで遊んだことがありますか。「UNO（ウノ）」はスペイン語で数字の1（いち）という意味です。確かに最後の1枚になったら「ウノ！」といいますよね。こちらには、スペイン語で「2」を表す「DOS（ドス）」というカードゲームもあります。細かいルールは紹介できませんが、残りカードが2枚になったら「ドス！」といいます。パラグアイの人たちがよく遊んでいるのは「UNO」ですが、それに似た「DOS」ゲームも作られていたなんて知りませんでした。



UNO（ウノ）とそっくりですが見たことがないカードも入っている DOS（ドス）

〈カルタ〉

日本の正月遊びに「かるた」がありますね。カルタという言葉はスペイン語で手紙やカード、お店のメニューなどを表す

「carta（カルタ）」という言葉と同じです。この言葉はスペインのとなりにある国ポルトガルから日本に伝わったカードゲームが元となっています。

食べ物編

〈パン〉

一度紹介したことがありますが、「パン」という言葉もスペイン語の「Pan（パン）」と同じです。しかし、これはスペインから入ってきた言葉ではなくスペインのおとなりポルトガルから入ってきた言葉です。スペイン語とポルトガル語はよく似ていると

ころがあり、ポルトガル語でも「Pão（パオン）」といいます。カタカナで書くので英語だと思っている人もいますが、英語ではパンのことを「ブレッド」といいます。

ちなみに「パン屋さん」のことを「ベーカリー」と呼びますが、これは英語です。スペイン語で「パン屋さん」は「パナデリーア」といいます。日本は、いろいろな国の言葉を取り入れていておもしろいですね。



パン屋さんはベーカリーではなくパナデリーア=panaderia KARU

スポーツ編

日本のプロスポーツでも、チームの名前に外国の言葉を入れているところがけっこうあります。サッカーチームの「大宮アルディージャ」は、リスを表す「アルディージャ」、「セレッソ大阪」は桜を表す「セレッソ」、東京ヴェルディは緑を表す「ベルデ」から、柏レイソルは王を表す「レイ」と太陽を表す「ソル」をくっつけたものなど、スペイン語を取り入れているチームがたくさんあります。ちなみに、「サンフレッチェ広島」の「サンフレッチェ」は「三本の矢」を意味するそうですが、「サン」は日本語の三、「フレッチェ」はイタリア語で矢を表した言葉で、スペイン語ではありません。ただ、矢のことをスペイン語で「フレッチャ」といい、よく似ています。ヨーロッパの中でもスペイン語、ポルトガル語、フランス語、イタリア語は「ラテン語」という昔使われていた言語が変化してできた言葉だそうで、日本の方言のように似たところがあるみたいです。

その他

〈エルニーニョ現象〉

天気予報やニュースで「エルニーニョ現象（げんしょう）」という言葉聞いたことがありますか。海の温度が高い状態が一年

以上続くことです。このエルニーニョとはスペイン語で男の子を表す「El niño（エル ニーニョ）」からきています。この名前は南米「ペルー」という国の漁師さんが名付けたとされています。また、その逆の海の温度が低くなってしまう現象をラニーニャ現象といい、こちらはスペイン語で女の子を表す「La niña（ラニーニャ）」からきています。

日本では外国から入ってきた言葉がたくさん使われています。「これはどこの国から来た言葉？」と調べているのも面白いですね。「英語じゃないんだ」と新たな発見があるかもしれません。

店を守る警備員さん

店の入口に大きなライフル銃を持った警備員さんが立っていることがよくあります。この銃は本物です。本物の銃を持って立つことで、強盗などが近寄りにくくする効果があるそうです。一見危険な感じですが、お客さんや店の安全を守るためだそうです。

「警察もたくさん見回ってくれているけど、強盗が多いから気をつけて。たくさんのお金はカバンに入れないように。チャックは必ず閉まっているか確認して。カードや財布、携帯電話はポケットに入れないようにね。」とていねいに教えてくれました。見た目はこわい感じですが、とてもやさしい警備員さんでした。



「写真をとらせて！」とお願いしたらポーズをとってくれた警備員さん=centro comercial

タイトル写真について

「ラルグス・ファスシアトウス」という名前のカメムシです。パラグアイで初めてカメムシを見つけました。日本でよく見る種類のカメムシはいません。冬でも寒くなることが少ないので、家の

中に入ったり、服に入ったり、窓のすきまに…なんてことは一度もありませんでした。また、日本のカメムシのようにくさいニオイを出すこともめったにないそうです。虫が苦手な人は写真を見て驚いたかな。びっくりさせてごめんなさい。

スペイン語・グアラニー語ひとつ講座

A dónde vas? (ア ドンデ バス?) :どこに行くの?

友達がどこかに行くとき、行き先が気になればこのようにたずねます。答える場合は「A (ア～(場所の名前))」で「(場所の名前)に行くよ。」と答えます。

次回について

次回はいよいよアスンシオン通信シーズン2(最終号)になると思います。 Chao chao! Hasta la próxima vez!